

# 小学生の血清スギ特異的 IgE 抗体及び 花粉症症状に関する疫学的研究

出典 千葉大学環境科学研究報告 (0386-2119) 28 巻 Page1-6 (2003. 03)  
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004120337>)

著者 島正之 他

調査地域 千葉県君津市、千葉県市川市

調査時期 2001 年 10 月

調査対象 小学生

依頼数 2539 人

回収数 (率) 質問紙 : 2500 人 (98. 4%) 君津市 : 1251 人 (99. 5%)  
市川市 : 1249 人 (97. 4%)  
採血実施者 : 2097 人 (82. 6%) 君津市 : 1087 人 (86. 4%)  
市川市 : 1010 人 (78. 8%)

診断方法 ISAAC に準拠し、季節性鼻・結膜症状があり、  
かつスギ特異的 IgE 抗体陽性のものを花粉症症状とした

有症率	君津市	市川市	全体
鼻症状 :	28. 4%	36. 1%	32. 2%
鼻・結膜症状 :	14. 5%	15. 9%	15. 2%
季節性鼻・結膜症状 :	12. 7%	13. 9%	13. 3%
スギ特異的 IgE 抗体陽性率 :	33. 6%	40. 7%	37. 0%
季節性鼻・結膜症状有症者のスギ特異的 IgE 抗体陽性率 :	75. 0%	70. 5%	72. 8%
花粉症症状 :	9. 7%	9. 7%	9. 7%

調査概要 小学生のスギ花粉症の有症率と関連因子を調査した論文。  
スギ特異的 IgE 抗体陽性率と花粉症症状有症率は高学年ほど、  
また花粉飛散数が多いほど高いが、花粉以外の環境因子の影響が示唆された。